



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：松波 恒彦
幹事：平野 好道
クラブ委員長：犬塚 達郎
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1592回例会

～識字率向上月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年3月28日(木) 晴 第36回

I. D. M.

司会：堀慎治会場委員長
斉唱：「それでこそロータリー」

会長挨拶

松波恒彦会長

皆さん、こんばんは。本日は高木クラブ奉仕委員長、I.D.M.を宜しくお願い致します。台北延平RCへ訪問致しまして、肩の荷が降り、ほっとしています。



本日のご挨拶は、私の本職の犬の話をごさせて頂きたいと思っております。今、犬の種類は654種です。動物や植物の中で同じような系列で、これだけ数が多いというのは稀な存在です。犬が家畜化されたのは、約15,000年前、狼から分化して徐々に家畜化されていったそうです。世界中には654種類の犬と38種の狼がいます。そのDNAを調べると、少なくとも4系統の狼のDNAが現在の犬に組み込まれている事がわかりました。このことから、確実に狼から今の犬に進化していったという証明がされています。そして、犬の鳴き声には様々な表現があります。犬の翻訳機があるのをご存じでしょうか。200種類の文章の翻訳ができるそうです。これは日本製で、普通に店頭で売られており、家庭で使われています。携帯電話のような物に犬が吠えると「おかえりなさい」と言ったり、「ご飯がほしいよ」「一緒に遊んでよ」等、いろいろな単語に翻訳されるそうです。犯罪等で声の分析をする声紋の研究所がありますが、そこでいうと、悲しい鳴き声、フラストレーションの鳴き声、威嚇の鳴き声、要求の鳴き声、楽しい鳴き声、自己表現の鳴き声の6種類に分かれるそうです。これは、万国共通だそうです。犬の鳴き声の話になりましたが、日本では犬の鳴き方をワンワンと言います。アメリカではバウバウ、イギリスではワフワフ、韓国ではモンモン、バングラデシュではゲウゲウ、ギリシャではガブガブ、タイではホンホン、デンマークではボウボウと聞こえるそうです。江戸時代後期の絵本、『桃太郎』の中には犬の鳴き声はワンワンと書いてあります。しかし、平安時代末期頃の本、『悉曇要集記』(高野山親王院蔵)の中では、「犬はビョウビョウと吠えている」と書かれています。皆さん、ご存じかもしれませんが、事実、現代の和泉流の狂言「盆山」の中では犬の鳴き声はビョウビョウと言われます。時代と共に野良犬の警戒心の強い鳴き声から、飼い犬主流の鳴き声へ変化してきました。そのため、江戸時代以降は柔らかに「ワンワン」と表現するようになりました。以上で挨拶とさせていただきます。有難うございます。

ニコボックス

梅村昌孝ニコボックス委員長

- ・先日の台北延平RC訪問の際の余剰金をニコボックスへ入れさせていただきます。 **本多 清治さん**
- ・3月25日は妻の誕生日でした。 **堀 慎治さん**
- ・明日から待望のプロ野球が始まります。今年もドラゴンズを応援しましょう。本多さん、早速ナゴヤドームのチケットを有難うございました。 **野崎 洋二さん**
- ・昨日は家族で蒲郡に行ってきました。 **鈴木 淑久さん**
- ・今夜はI.D.M.です。宜しくお願いします。

関谷 俊征さん 大川 嘉成さん

- ・今日はクラブ奉仕委員会の担当で「I.D.M.」です。宜しくお願いします。 **高木 勝さん**
- ・本日は出席者が少ないようです。年度末のせいでしょうか。I.D.M.の成功を祈って。 **高村 博三さん**
- ・I.D.M.、高木さん、宜しくお願いします。 **松波 恒彦さん**

幹事報告

平野好道幹事

- ・次週4月4日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第10回理事会を行います。
- ・次週4月4日(木)18:00より蓬萊軒神宮店にて近藤ガバナー年度地区スタッフ懇親会(キックオフ大会)を行います。
- ・米山梅吉記念館より4月27日に行われる春季例祭のご案内が来ています。
- ・名古屋城本丸御殿玄関・表書院の完交記念内覧会のご案内が来ています。

委員会・同好会報告

親睦活動委員会(国内友好小委員会専任)：堀慎治親睦活動副委員長

4月15日(月)に福岡西RCの例会に出席致します。ご参加される方は私までご連絡して頂きたいと思っております。

地区情報

被災高校生支援委員会：亀井直人副幹事

4月20日に岩手県盛岡で第2520地区現地側のサポートRCと第2760地区との本事業のキックオフのセレモニーが行われます。この時に目に見える事業として、心の交流事業ということで、色紙に皆さんのお名前と応援メッセージを書いて頂きます。分かっている情報は陸前高田の高校生の女性で、イニシャルがY・Yさんという事だけです。この色紙を書いて頂いた後、写真も撮らせて頂き、その写真と色紙を添えて送ります。ご協力の程宜しくお願い致します。

出席報告

梅村昌孝出席委員長

会員64名 出席36名 (出席計算人数48名)

出席率 69.2%

3月21日は補填により 96.2%

開催趣旨説明：高木勝クラブ奉仕委員長

皆さん、こんばんは。本日は年に1度のI.D.M.ということで、様々な意見を出して頂き、盛り上げ、思い出に残る年のI.D.M.にして頂けたらと思います。

来年、再来年には、2760地区の当クラブから近藤ガバナーが選出されるということで、地区からの注目が非常に高いクラブとなっていきます。そこで、やはり、名古屋瑞穂RCの会員が一丸となり、ガバナー、会長を盛り立てていきたいと思えます。若手会員の方からベテラン会員の方まで心を一つに、壁がないようお互いの絆を深め合いながらクラブ作りができれば、きっとその年度も成功するであろうと思ひ、本日のテーマは「今後の名古屋瑞穂RCに求められる事」という漠然としたテーマでございます。本日の担当はクラブ奉仕委員会ということで、各テーブルに進行テーブルリーダーを設けています。私の向かって左手前の方から、関谷さん、堀さん、そして梅村さん、右の方が長瀬さん、近藤茂弘さん、大嶽さんがテーブルの進行役になります。クラブ奉仕委員会のテーブルに座っている進行役の方はクラブ奉仕委員会の委員長の方です。その委員会に限らず、先輩の方も若い方も疑問や、どうしたらクラブが良くなるのか、新しい仲間が集えるのか、という様々な想いがあると思えます。お酒が入ると、過激な意見も多数出ると思えますので、本日は時間制限30分を設けさせていただきます。6テーブルあり、進行役がご指名を申し上げますので、お一人3~5分でご自身が思う事を発表して頂きます。後日、それをテーブルリーダーがまとめ、私に提出して頂き、私が全体をまとめ、6月の委員会の際、次のクラブ奉仕委員長にまとめた物をお渡しして、次年度がスムーズに進めていけるようにしていきたいと思えます。そのような事で、本日のI.D.M.の進行をしていきたいと思えますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



乾杯：高須洋志直前会長

私のテーブルで女性会員についての意見が出ました。いずれは議論をしなければいけないという認識はございます。結論は別として、2、3年かけて議論をしなければいけないかなという雰囲気です。それでは、有意義な一晚になるよう乾杯をしたいと思います。乾杯！



卓越したローターアクト・プロジェクト賞の受賞クラブが発表される

インド、ムンバイのローターアクト（会員の殆どが医師）は、貧しい地域の学校に通う子供達のために、視力検査や総合的な眼科医療を提供しています。医療キャンプの方式で行われているこのプロジェクトで、何千人もの子供達が恩恵を受けました。



カドゥセウス・ローターアクト・クラブ（インド、ムンバイ）によるプロジェクト（子供達に視力検査や眼科医療を提供する「Vision Six by Six」というプロジェクト）が、卓越したローターアクト・プロジェクト賞を受賞しました。会員はこのプロジェクトの為に様々な募金活動を実施し、15,500米ドルを集めました。子供一人あたり1ドル以下で眼科検診の費用が賄えるよう、医療品をまとめて購入しただけでなく、白内障や斜視の手術を提供するため、3つの非営利組織病院と協力しました。

受賞クラブは、3月11~17日の世界ローターアクト週間に合わせて発表されました。各地域から選ばれた受賞7クラブのうち、ムンバイのクラブが世界賞に選ばれました。受賞クラブは、6月にポルトガルのリスボンで開催されるローターアクト大会前会議にて、プロジェクトに関する発表を行います。

この医療キャンプで治療を受けた子供達は、目の屈折障害、感染症、アレルギー、ビタミンA欠乏症などに苦しんでいました。プロジェクト開始後7カ月間で、1万人以上の子供達が検査を受け、そのうち1,520人が何らかの視力矯正治療や手術を受けました。

クラブ会長のパンカジ・ジェタワニさんは、次のように話します。「ムンバイ地域の政府が運営するリソースの少ない学校に通う子供達を支援したいと考えました。彼らは視力検査を受けたことがなく、何らかの屈折障害を抱えています。黒板がよく見えない為に学校が嫌いになる子供や、見えないことを問題ではない、または治療が不可能であると思ってる子供がいます。このキャンプで治療する子供達の殆どが、これまでに眼科にかかったことがありません」

プロジェクトの計画、実施、評価、募金活動においては、提唱クラブであるボンベイ・セントラル・ロータリー・クラブが支援を提供しました。募金活動の一つとして行ったコメディショーでは、非営利のコンサルティング会社と協力し、インドで有名なコメディアン4名の公演を無料で取りつけました。また、インターネットを利用したクラウドソーシングで、寄付も幅広く働きかけました。

医療キャンプの実施だけでなく、子どもたちに正しい眼科ケアの方法を学んでもらう為、教師に対する研修プログラムも開始しました。この結果、92%の子供達が、研修を受けた教師から教えられた眼科ケア（眼鏡をかけるなど）を実行していることが分かりました（キャンプから2カ月後）。

「このプロジェクトは多くの子供達を支援し、彼らの未来にも影響をもたらす正しい治療を提供することができました」とジェタワニ会長は話します。

例会のご案内

- 今週の卓話 4月 4日(木)
卓話講師：RI第2760地区 地区IT委員長
尾本和弘さん
テマ：ガバナーホームページについて
- 次週の行事 4月 7日(日) 春の家族会
場 所：ロテル・ド・比叡
- 4月11日(木) 振替により休会